

サッカーにおけるフェアプレイ

サッカーW杯ドイツ大会において、イタリアが四度目の優勝を果たした。今大会も、前評判のさ程高くなかったドイツが気迫を見せて第三位に食込んだこと、逆に優勝候補一番手であったブラジルが思いの外緊迫したゲームに弱かったこと、日本をはじめとするアジア勢とヨーロッパ、南米の各チームとの実力差が目立ったことなど話題には事欠かなかった。しかし、何と言っても最大の話題は、決勝戦におけるフランスのジダン選手のイタリアのマテラッツィ選手に対する頭突きによる一発退場であった。F I F Aの規律委員会は、ジダンに罰金七〇万円と社会奉仕活動三日間の処分を、ジダンを中傷したマティラッツィに罰金四七万円と出場停止二試合の処分を下した。

聞くとところによれば、イタリアのセリエAなどプロリーグでは試合中の挑発や中傷、ひわいな言葉などは日常的であるという。サッカー選手或いはチーム関係者にとって、W杯大会で優勝することはかけがえのない最高の名誉であるはずである。マティラッツィはこの名誉を得んがため今大会絶好調のジダンに対し恥ずべき言葉を浴びせて中傷した。これに即座に暴力をもって報復したジダンは退場処分となり、今一步のところでチームの士気を消沈させ、最高の名誉を失った。私は、マティラッツィの中傷の具体的内容とその中傷にジダンが受けた苦痛の程度を知らない。しかし、全世界が注目した決勝戦を後味の悪いものとしたことは確かである。

また最近、イタリア一部リーグ（セリエA）のユベントス、フィオレンティーナ、ラツィオ、ACミランなどが審判操作などの不正行為により厳しい処分を受けた。

サッカーに限らずスポーツは公正なルールの下鍛え上げた技術と肉体のぶつかり合いであってこそ楽しいし、名誉が得られるものである。

静岡県サッカー協会は、本年六月、日本サッカー協会にならって、従来の規

律・フェアプレー委員会に加えて、裁定委員会を創設した。前者は競技及び競技会に関する選手その他の関係者及びチームの違反行為に対する懲罰案を決定し、後者はそれ以外の違反行為に対する懲罰案の決定と契約、所属、移籍等に関する紛争について和解の斡旋を行う。いずれもサッカーの名誉を守るための組織である。近時、静岡県サッカー協会の傘下の各チームにおいても、時としてルール違反が見受けられ、これに対し、右各委員会が開かれることがある。サッカーに携わる全ての人々がサッカーの名誉を守るべく心して頂きたい。

【平成18年8月3日 静岡新聞 朝刊 掲載】